



2023
Tottori YEG
YEG 45th



th

鳥取愛と誇りを胸に、日本一への挑戦をつくる。

高めよう 鳥取力 !!



CIVIC PRIDE

Activities and growth from 5 years ago to Now

Let's all leap towards the 50th anniversary.



商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト (若さ、情熱、広い視野をもった経営者 = Youth, Energy, Generalist) を表しています。

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
私たちはYEGとして、地域を愛し、日本 (にっぽん) を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。

「YEG宣言」策定・改正の経緯

「YEG宣言」は、第12回全国大会山形大会 (1992年11月) において、YEGの今後の指針となるべき宣言として採択された「山形宣言」を、綱領・指針と同様に、全国YEGの基本として位置づけたもの。その後、日本YEG設立30周年を迎え、第32回全国大会おきなわ那覇大会 (2013年3月) で採択された「おきなわ那覇宣言」を踏まえ、日本を愛する志を込めるべく、宣言の改正が行われた。改正された「YEG宣言」は、半年間の周知期間を経て、2013年11月11日から使用することとする。

商工会議所青年部

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所
活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は
一、地域を支える青年経済人として
先導者たる気概で研鑽に努めよう
一、国際社会の一員であるべき
国際人としての教養を高めよう
一、豊かな郷土を築くために
創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
一、文化を伝承しつつ 新しい文化の
創造に向かって歩を進めよう
一、行動こそ時代を先駆けるべき
青年の責務と信じ力を合わせ
国の礎となろう

商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」

作詞：石井 耕二 作曲：石井 勲

一、
伸びゆく大地 伸びゆく大地
日本の
拡がる街なみ 青い空
集える仲間は それぞれに
地域を支える 気概持つ
願いをかたちに 変えるため
商工会議所 青年部
求めて我らは 立ち上がる

二、
幾山河を 幾山河を 越えていく
道は果てなく 遠いけど
夢追う気持ちは 忘れない
人と人とが 語りあい
心と心を 結ぶため
商工会議所 青年部
時代を我らは 先駆ける

三、
自由の海の 自由の海の 渚には
世界の波が 打ち寄せる
歴史の舵は いつの世も
熱ある者が 取ってきた
豊かな郷土を 築くため
商工会議所 青年部
明日に我らは 船出する

鳥取YEGの歩み

創立～45周年

1979年
(昭和54年)

【会 長】中尾 収
◎4月11日 創立総会を
開催 会員数29名



会員数29名で鳥取YEGを創立

1980年
(昭和55年)

【会 長】中尾 収
◎例会・理事会を月例化
◎3委員会を設置

1981年
(昭和56年)

【会 長】潮 巽市
◎平林鴻三鳥取県知事、金田裕夫鳥取市長、米原
穰会議所会頭との懇談会を開催

1982年
(昭和57年)

【会 長】潮 巽市
◎山陰五地区青年部代表理事会参加

1983年
(昭和58年)

【会 長】児嶋祥悟
◎「因幡千本櫻」構想を立案
◎鳥取青年経済三団体連絡
協議会(青経協)結成
◎鳥取空港ジェット化早期
実現を要望



鳥取県知事へ早期
ジェット化要望

1984年
(昭和59年)

【会 長】今井陸雄
◎創立5周年祝賀会開催
◎「因幡千本櫻」事業開始

1985年
(昭和60年)

【会 長】今井陸雄
◎「因幡千本櫻」事業継続
◎鳥取スキー場建設の要
望書提出(鳥取市)



因幡千本櫻植樹

1986年
(昭和61年)

【会 長】縫谷昌生
◎「因幡千本櫻」事業継続
記念碑建立「ここに官民
一体の桜の新名所作り
事業完成す」
◎商工会議所青年部の歌
「伸びゆく大地」完成



鳥取商工会議所創立100周年
に会頭ほか市民による植樹

1987年
(昭和62年)

【会 長】縫谷昌生
◎「因幡千本櫻」完成・鳥取県へ引き渡し
◎中国横断自動車道鳥取姫路線早期実現の陳情
◎旧袋川に平家螢の幼虫200匹を放流



ミス千本櫻
安陪さん・蔵岡さん・手嶋さん



完成した因幡千本櫻を県に引き渡し
縫谷代表理事より知事へ

1988年
(昭和63年)

【会 長】寺坂昌昭
◎創立10周年記念事業実施



創立10周年記念事業

1989年
(平成元年)

【会長】寺坂昌昭
◎「おもちゃ博覧会なんでも
総合案内所」を開設
◎「おもちゃの国」建設を
提言(鳥取市)



おもちゃ博なんでも総合案内所

1990年
(平成2年)

【会 長】中尾廣太郎
◎中国横断自動車道姫路鳥取線の建設促進運動
(街頭署名活動、陳情実施)



広島地方建設局へ陳情



街頭署名運動

1991年
(平成3年)

【会 長】中尾廣太郎
◎鳥取市議会議員定数
問題研究
◎「鳥取のゴミ箱とベ
ンチをつくろう」事業
◎県立美術館設置研究・
陳情



ゴミ箱8基を鳥取市に寄贈

1992年
(平成4年)

【会 長】山田富士雄
◎大学高等教育機関に関する実態調査
◎県立美術館早期実現の陳情・2万人署名活動
◎東部青年経済団体協議会(五青協)正式発足



知事へ県立美術館建設陳情



県立美術館建設署名運動

1993年
(平成5年)

【会 長】山田富士雄
◎創立15周年記念事業実施
◎日本海国土軸研究

1994年
(平成6年)

【会 長】山中徳正
◎経営哲学アンケート実施(全会員対象)
◎県立美術館早期実現の研究
◎日本海国土軸研究

1995年
(平成7年)

- 【会 長】山中徳正
◎しゃんしゃん祭ウィンドウディスプレイコンテスト
◎大学設置10万人署名運動

1996年
(平成8年)

- 【会 長】森原 強
◎鳥取城復元研究
◎鳥取ナイトマップの作成
◎ウィンドウディスプレイコンテスト 他



「観光と町づくり」について話を聞いた11月例会

1997年
(平成9年)

- 【会 長】石破達己
◎姫鳥線早期着工ステッカー作成
◎新因幡ロードマップ設置要望
◎レンタサイクルマップ作成
◎第3回鈴の音ウィンドウディスプレイコンテスト 他



姫鳥線早期着工ステッカー

1998年
(平成10年)

- 【会 長】嶋田耕一
◎創立20周年記念事業実施
◎青年部会報発行



創立20周年記念事業



ペットボトルで鳥取城を復元

1999年
(平成11年)

- 【会 長】澤 健一
◎久松山に集まれ! イベント実施
◎わったいすか! ジャパニーズin鳥取開催 他



久松山で子供達と竹とんぼ作り

2000年
(平成12年)

- 【会 長】西尾和男
◎第18回中国ブロック大会鳥取大会開催
◎鳥取砂丘こどもの国ファミリーフェスティバルに屋台を出店



中国ブロック大会後全員で記念撮影

2001年
(平成13年)

- 【会 長】英 義人
◎袋川「川下り」イベント実施
◎観光マップ「とりマップ」作成



袋川の風情を別の角度から楽しむ

2002年
(平成14年)

- 【会 長】森 英明
◎鳥取三十二万石お城祭り時代行列の実施
◎しゃんしゃん祭りのインターネット生中継



しゃんしゃん祭りのインターネット生中継!

2003年
(平成15年)

- 【会 長】小谷知史
◎第23回全国大会 米子大会
◎袋川拠点委員会が県知事賞を受賞
◎2003砂丘美食空間食談会を開催



これまでの袋川への取り組みが評価され県知事賞受賞

2004年
(平成16年)

- 【会 長】池本百代
◎創立25周年記念事業実施
◎鳥取カレーの発信事業(とっとり活力発信委員会)
◎お城祭りで鳥取YEGオリジナル奴踊りを披露
◎ビジネスガイドブックを発刊 他



竹内市長としゃんしゃん祭りでカレー屋台



YEGオリジナル奴踊り

2005年
(平成17年)

- 【会 長】瀧本 寛
◎お寺コンサートの実施(観音院)
◎甲冑まつりの開催
◎とり・ひめ街道 夢フォーラムの開催
◎ネットショップセミナーの開催 他



観音院でピアノとサックスの演奏



手作り甲冑を作成

2006年
(平成18年)

- 【会 長】荒川 恵
◎袋川で咲いたコスモスをしおりにして鳥取市立中央図書館に進呈
◎県外の視察を経て、「いなばのお袋市」へ
◎県連合同例会の開催 他



コスモスをしおりに



鹿兒島・徳島・高知を視察

2007年
(平成19年)

- 【会 長】赤山 渉
◎ワンナイトシアターの実施
◎いなばのお袋市の開催
◎HPのリニューアル 他



袋川河川敷で映画上映会



いなばのお袋市

2008年
(平成20年)

- 【会 長】森下泰年
◎創立30周年記念事業実施
◎「いなばのお袋市 拡大版」を開催 他



創立30周年祝賀会を終えて



日本一のお袋市を目指して

2009年
(平成21年)

【会 長】藤谷 誠

◎いなばのお袋市を実施（4月～12月）

◎「こだわりの一品」パネル展実施



お袋市の定期的開催により
中心市街地の活性化に貢献



30周年記念事業を引継ぎ
「食」をテーマに紹介

2010年
(平成22年)

【会 長】阿部高志

◎こだわりの店マップを作成

◎8月納涼例会にて、ビーチクリーン作戦実施



中心市街地の飲食店舗の
「こだわりの一品」を紹介



山陰海岸ジオパークの
清掃活動を実施

2011年
(平成23年)

【会 長】桶谷靖志

◎鳥取YEGオリジナルの焼き肉のタレを販売

◎袋川から始まるまち興し

◎エンジン01文化戦略会議 オープンカレッジ
in 鳥取開催



お袋市でハンバーガーを販売



袋川の魅力を再発見



鳥取の文化を再発見した、エンジン01文化戦略会議 in 鳥取



2012年
(平成24年)

【会 長】吉川 浩

◎「故郷の新しい風会議」を開催

◎お袋市にて「コスプレちびっ子アニソンカラオケ大会」を実施



若手官僚と意見交換



子どもたちの笑顔でまちを元気に

2013年
(平成25年)

【会 長】谷本暢正

◎エンジン02鳥取・食のまつり2013～先鳥の食卓～開催

◎鳥取三十二万石お城まつりに「昔遊びコーナー」を出展

◎創立35周年記念事業実施



多くの来場者を迎え開催



子どもたちの笑顔あふれるコーナー

2014年
(平成26年)

【会 長】山崎弘嗣

◎「きなんせ鳥取！」中国ブロック大会へ準備

◎鳥取YEG 連、しゃんしゃん祭りで一花

◎ブロック大会PRビデオ、鳥取砂丘で撮影



一丸となって準備



心を一つに傘踊り

2015年
(平成27年)

【会 長】田中健志

◎「万全でおもてなし」日本YEG 第33回

中国ブロック大会

◎ブロック大会PRキャラバン隊が駆け巡る

◎「挑もう鳥取創生」行政との意見交換



鳥取大会は大成功



鳥取創生に向け議論

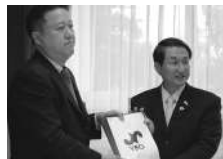
2016年
(平成28年)

【会 長】牧浦健泰

◎「鳥取県を『星取県』へ」行政に提言

◎因幡千本桜を再び、植樹5カ年計画

◎4年ぶりにお城まつりの「奴踊り」復活



鳥取県の平井知事に提言



復活した奴踊り

2017年
(平成29年)

【会 長】福田通弘

◎「鳥取県星空保全条例」制定されたことで広がる

「星取県」切手に、絵はがき、星取ビールなど

◎東浜海岸でグランピング☆スターツアー開催

◎林修氏が特別講演会、「やりたい事」と「出来る事」



園児の協力で絵はがき完成



グランピングでのディナー

2018年
(平成30年)

【会 長】杉内勝成

◎商工業の発展目指し「いなばの風会議」

◎鳥取城北高校と協力し、まちなかと若者つなぐ

スペース完成

◎創立40周年記念事業実施



いなばの風会議で意見交換



高校生と一緒に拠点づくり

時代を彩った主な出来事

令和元年度(2019)

- ・天皇陛下が即位「令和」に改元
- ・ラグビーW杯日本8強
- ・ノーベル化学賞に吉野彰氏
- ・ゴルフ・渋野日向子全英女子優勝
- ・消費税10%に引き上げ
- ・沖縄首里城 焼失

令和2年度(2020)

- ・新型コロナ 緊急事態宣言
- ・甲子園春夏中止
- ・東京五輪・パラ 1年延期
- ・「鬼滅」興行収入最速100億円
- ・レジ袋有料化スタート
- ・将棋・藤井聡太七段 最年少タイトル

令和3年度(2021)

- ・東京五輪 日本は史上最多58メダル
- ・大谷翔平 メジャーMVPに
- ・新型コロナワクチン接種開始
- ・静岡・熱海で土石流被害甚大
- ・新型コロナ変異株が猛威
- ・ゴルフ・松山英樹 マスターズ優勝

令和4年度(2022)

- ・円安 1ドル150円突破
- ・沖縄本土復帰50年
- ・サッカーW杯日本16強
- ・知床観光船 沈没事故
- ・ロシアのウクライナ侵攻
- ・安倍元首相撃たれ死亡

令和5年度(2023)

- ・新型コロナ5類へ
- ・WBC日本全勝優勝
- ・物価高による値上げ止まらず
- ・広島G7サミット開催
- ・ChatGPTが話題に
- ・株価バブル後最高値

令和5年

会員数 **200** 人超

鳥取 YEG 活動の軌跡

令和元年度(2019)

- ・鳥取バスフェスタ
「1日まるごととりバス！」開催
- ・第3回強肩王決定戦
in Tottori 2019開催



令和2年度(2020)

- ・麒麟獅子舞紙芝居制作
- ・多鯨ヶ池でYEG花火鑑賞会
- ・鳥取YEG公式SNS開始
- ・因幡千本桜植樹五カ年計画完成



令和3年度(2021)

- ・星取ビールプロジェクト
- ・星取キャンプ場ワークショップ
- ・仮設三階櫓 お城祭で設置
- ・鳥取SDGs アンブレラスカイ



令和4年度(2022)

- ・第1回鳥取YEG高校生
ビジネスコンテスト実施
- ・トリバラ2022開催
- ・丸由one buy one運動



令和5年度(2023)

Now ongoing



令和元年

会員数 **150** 人

We will continue to grow as the organization expands.